

## 第 38 回講習会「語用論の基礎から展開へ」のご案内

2011 年 11 月 10 日

日本コミュニケーション障害学会学術事業部

「語用論」ということばを知っていらっしゃる方は多いでしょう。音韻論・意味論・統語論などと比べ、言語学の中では中心的な存在ではないという印象のある方や、コミュニケーション障害の臨床に深く関係があると理解している方もいらっしゃると思います。さらに、小児の臨床なら「心の理論」を、成人の臨床では「談話分析」を思い浮かべる方があるかもしれません。でも、じつのところ「語用論」の基礎を学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。

語用論の全体像を学ぶ講習会を 2009 年に東京で開催したところ好評を博し、今回大阪でも開催の運びとなりました。前回と同じく北海道大学教授・加藤重広先生を講師にお招きし、基礎知識からその展開の入り口まで、わかりやすく楽しくお話しいたします。どうぞこの貴重な機会をお見逃しなく！

1. 日時：2012 年 2 月 19 日（日） 10：00－16：30（受付は 9：30 から）

2. 会場：大阪市立大学医学部附属病院 5 階講堂

JR、大阪市営地下鉄（御堂筋線・谷町線）天王寺駅

近鉄南大阪線大阪阿部野橋駅 下車徒歩約 8 分（裏面地図参照）

3. 講習の内容：

### 第 1 部 語用論の基礎知識（10：00－12：00）

- ・語用論の誕生：語用論とはなにか？
- ・文脈の科学としての語用論：なぜ空気が読めるの？
- ・間接発話行為：言わないけど、察してよ
- ・用語の整理：人間という横着な生き物

### 第 2 部 語用論での日本語のとらえかた（13：00－14：30）

- ・明日、会議あったかな？（「タ」は過去じゃない）
- ・あれからあの人、どうなったの？（「アレ」で思い出す）
- ・頑張って下さい（「頑張って」は禁句？）
- ・子供は騒ぐものです（モダリティで表すこと）

### 第 3 部 語用論の展開と広がり（14：40－16：10）

- ・関連性理論から言語語用論へ：人間は知りたがりだ
- ・会話分析から社会語用論へ：ことばに現れる社会性
- ・動的語用論から心理語用論へ：いまの私はさっきの私じゃない
- ・心の理論から臨床語用論へ：私の世界とあなたの世界

### 質疑応答（16：10－16：30）

4. 講師紹介

加藤重広先生：北海道大学・大学院文学研究科・教授。専門は、言語学（語用論・統語論）、日本語学（文法論・社会言語学）。東京大学文学部言語学科卒業、同大学院博士課程修了、文学博士。東洋大短大非常勤、富山大学講師・助教授を経て現職。日本言語学会評議員・日本語用論学会運営委員・東京外大共同研究員・国立国語研究所共同研究員。主著に『日本語修飾構造の語用論的研究』『日本語語用論のしくみ』『ことばの科学』『その言い方が人を怒らせる』など。

5. 定員：100 名（定員を超えた場合は、締切前でもお断りすることがあります。）

6. 参加費：会員 4000 円、非会員 8000 円、学生 3000 円

7. 申込締切：2012 年 1 月 31 日（火）

8. 申込方法：裏面申込書に記入のうえ、FAX か郵送でお送り下さい（学生の方は学生証コピーも送付）。

**FAX の場合は、申込書を切り取らずにそのままお送りください。**

<送り先・問合せ先> 〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-7-11 サンハイツカワバタ 202

日本コミュニケーション障害学会 電話/FAX：042-324-7397

E-mail アドレス： jacd@tea.ocn.ne.jp

9. 参加費の振込：申込後、受講の可否を葉書でお知らせします。（申込み後 2 週間経っても葉書が届かない場合はご連絡ください）。葉書到着後 2 週間以内に（開催日まで 2 週間を切っている場合は開催日まで）参加費を下記口座にお振り込み下さい。期限内のお振り込みが困難だった場合は学会事務所に一報ください。振込用紙の通信欄に、①参加者名、②講習会名、③開催年月日を必ずお書きください。振り込まれた参加費は返却いたしません、代理の方の参加は可能です。

<振込先> 郵便振替：口座番号 00120-2-116189  
 加入者名：日本コミュニケーション障害学会事業部

10. 昼食：会場周辺に飲食のできるお店があります。また、会場の病院内にコンビニエンスストアがありますので、お弁当を買って会場で食べていただくことも可能です。ただし、机、椅子、床などを汚さないようお気をつけください。また、ゴミは各自お持ち帰りください。



FAX：042-324-7397 (FAX の場合は、切り離さずにこのまま送信してください)

郵送の場合は、表面の情報保管のために申込書をコピーしてから切り取ってお使いください。

第 38 回講習会「語用論の基礎から展開へ」申込書

申込日 2011・2012 年 月 日

フリガナ 名前： \_\_\_\_\_ (該当するところに○をおつけください)  
 ( 会員 (No. \_\_\_\_\_)、非会員 \_\_\_\_\_、学生 \_\_\_\_\_ )

住所 (自宅)： \_\_\_\_\_

所属： \_\_\_\_\_

連絡先： TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ (自宅、所属先)

E-mail： \_\_\_\_\_

職業： \_\_\_\_\_ 経験年数： \_\_\_\_\_ 年

注) 受講の可否のハガキは、原則としてご自宅宛とします。ご都合の悪い方は、ご連絡ください。